

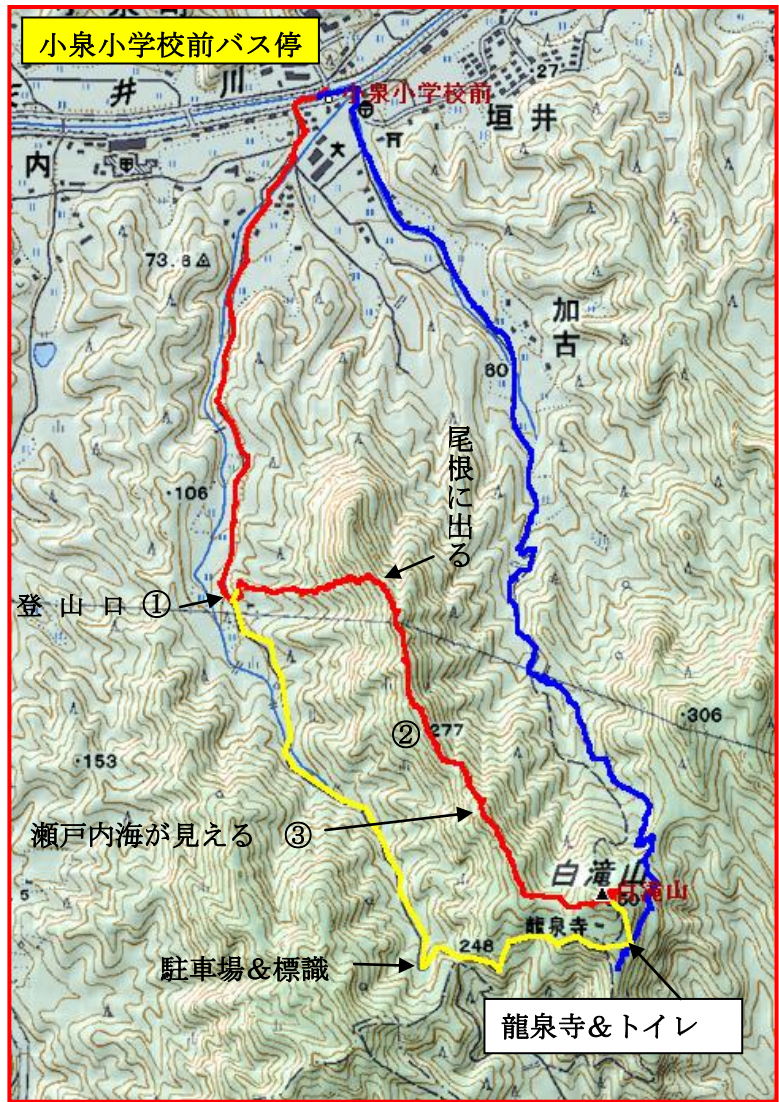
# 白滝山 (350m) (小泉町)

## 素晴らしい展望が楽しめる山

芸陽バスの「小泉小学校前」バス停を出発&帰着点とする赤線で示すコースを紹介する。

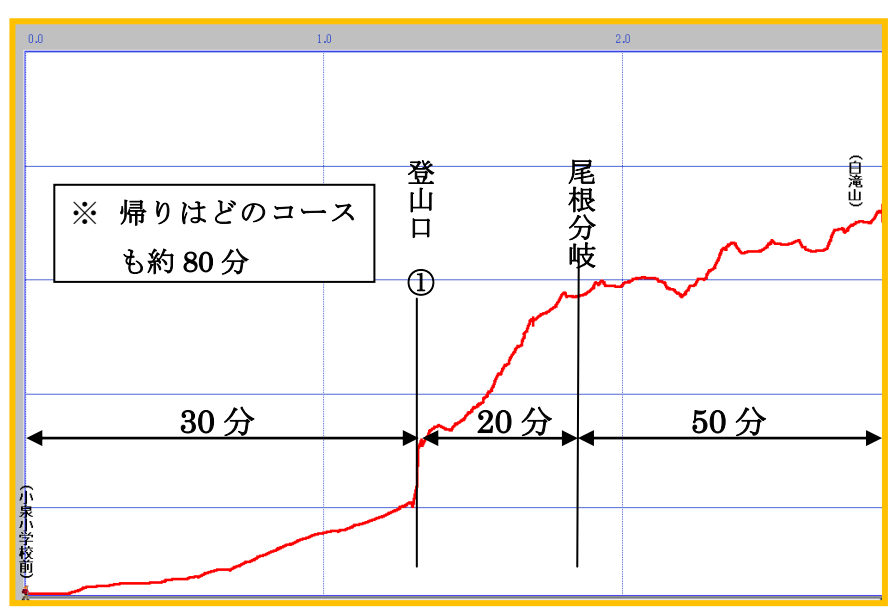
距離は約6Km、累積標高差が+600m弱、歩行時間は約3時間(休憩時間は除く)。登山口①から白滝山へ向かう尾根歩きルートは、一部小岩場もあり、中級者向けである。(白滝山まで、左図青線の旧参道をたどれば、危険な箇所は全くなく、初心者でも大丈夫である)

まず、「小泉小学校前」バス停から登山口①までは、舗装された車道を歩く。登山口①は分かり難いので注意すること。道路沿いに沢山並ぶ、地蔵さんの道標の中で、「駐



車場迄1200米」が目印。登山口①は左手で、ベンチが一つあり、木の枝に小さな「白滝山へ」の標識が掛っている。最初は左にそして右にと曲がりながら登ると、後はほぼ一直線に尾根に向かって登る。階段も設けられており、結構きつい登りである。尾根に出たら、右にルートを取り、尾根を小さなアップダウンを繰り返しながら進む。鉄塔下を通過後、しばらく進むと、前方に三角形をした岩のピークが現れる(ポイント②写真参照)。頂上には登らず、左に巻き、次いで右に巻いて通過する。ここは迷いやすい所であり、かつ岩場を通過する、一番の難所であり、十分注意すること。この難所を通過すると、目の前に瀬戸内海の眺望が広がる(ポイント③)。後は道なりに進めば「白滝山」も近い。頂上直下で道が分岐する。頂上へは左の登りルートを取る。道は舗装されていて、頂上直前に現れる豊岩の側面の磨崖仏(江戸初期の作と伝わる)に目を見張る。そしてすぐに頂上に至る。頂上に鎮座する巨大な豊岩から、360度の展望を満喫しよう。南に瀬戸

内海の島々・多々良大橋そして天気良ければ、四国山脈も望める。東には三原市街、北には、広島空港や高山城跡が残る高山や新高山城跡が残る新高山も望める。そして西には遠く野呂山まで見える。素晴らしい。眺望を楽しんだら、山頂の西側にある「鐘つき堂」にも寄ってみよう。下山コースとしては、すぐ下の「龍泉寺」(曹洞宗で県の重要文化財も多く、今は外国人住職が守っている)を経由して、三つが考えられる。



以下の写真を参照されたい。

### チェックポイント

三原駅から芸陽バスの「小泉線」で「小泉小学校前」下車

### アクセス

線ルート

舗装道を駐車場へ向かう。そして、のんびりと車道を下って登山口に合流後、バス停に至る。「黄色のルート」(二)は龍泉寺の階段を下りて、左に道を取り、展望台へ向い、直前で左折して(標識あり)旧参道を下る。「青色のルート」(三)は龍泉寺から引き返して、元来た道をたどる。「赤線ルート」



白滝山山頂からの眺め

木に掛けられた小さな標識



このベンチの向こうが登山口



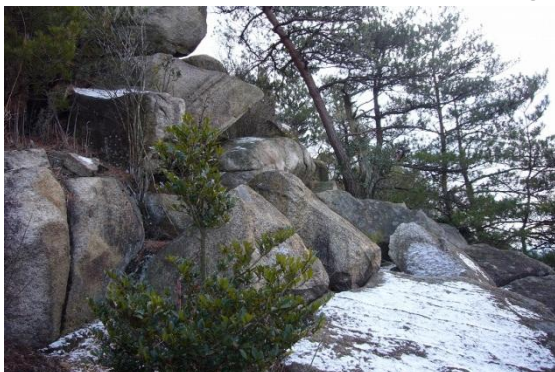
登山口①周辺



駐車場迄 1200m と書かれた  
地蔵標識



ポイント② 行く手にピーク、頂上付近を左右にまく



ポイント③ この岩を超えると視界が開ける



ポイント③ ここで、初めて瀬戸内海の展望が開ける